

2021年2月期 第3四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

2021年1月12日

上場取引所 東 福

上場会社名 株式会社 安川電機

コード番号 6506 URL <https://www.yaskawa.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小笠原 浩

問合せ先責任者 (役職名) 広報・IR部長 (氏名) 林田 歩 TEL 03-5402-4564

四半期報告書提出予定日 2021年1月13日 配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無：有

四半期決算説明会開催の有無：有（証券アナリスト・機関投資家向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2021年2月期第3四半期の連結業績（2020年3月1日～2020年11月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上収益		営業利益		税引前利益		四半期利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年2月期第3四半期	279,937	△9.6	20,041	4.8	19,083	△0.5	14,337	4.0
2020年2月期第3四半期	309,801	—	19,128	—	19,173	—	13,792	—

	親会社の所有者に帰属する四半期利益		四半期包括利益合計額		基本的1株当たり四半期利益		希薄化後1株当たり四半期利益	
	百万円	%	百万円	%	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年2月期第3四半期	14,083	3.3	16,608	85.8	53.88	53.86	53.86	53.86
2020年2月期第3四半期	13,636	—	8,938	—	51.99	51.97	51.97	51.97

（注）当社グループは2020年2月期よりIFRSを適用しております。そのため、2020年2月期第3四半期の対前年同四半期増減率は記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	資産合計		資本合計		親会社の所有者に帰属する持分		親会社所有者帰属持分比率	
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	%	%	
2021年2月期第3四半期	454,749	237,372	234,494	51.6				
2020年2月期	450,127	231,167	228,362	50.7				

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年2月期	—	26.00	—	26.00	52.00
2021年2月期	—	12.00	—	—	—
2021年2月期（予想）	—	—	—	12.00	24.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2021年2月期の連結業績予想（2020年3月1日～2021年2月28日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上収益		営業利益		税引前利益		親会社の所有者に帰属する当期利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
通期	380,937	△7.3	27,191	12.4	26,373	7.0	18,053	15.9

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

決算に関する詳細情報として、当社ウェブサイト（<https://www.yaskawa.co.jp>）に本日公表の決算補足説明資料を掲載しております。併せてご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年2月期3Q	266,690,497株	2020年2月期	266,690,497株
② 期末自己株式数	2021年2月期3Q	5,291,653株	2020年2月期	5,314,950株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年2月期3Q	261,388,915株	2020年2月期3Q	262,282,770株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件等については、四半期決算短信（添付資料）4ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

・当社は、2021年1月12日（火）に証券アナリスト・機関投資家向け決算電話説明会を開催する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 要約四半期連結財務諸表および主な注記	5
(1) 要約四半期連結財政状態計算書	5
(2) 要約四半期連結損益計算書および要約四半期連結包括利益計算書	7
(3) 要約四半期連結持分変動計算書	9
(4) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループは2020年5月28日提出の有価証券報告書より、会計基準の統一による経営管理の高度化および資本市場における財務情報の国際的な比較可能性向上を目的として、国際財務報告基準（IFRS）を任意適用しております。また、2020年度より全社費用の配賦方法の変更なども行っています。

これにより前年同期の数値は、これらの変更影響を加味した上で算出しています。

①2021年2月期第3四半期（2020年3月1日～2020年11月30日）の経営成績

当第3四半期における当社グループの経営環境は、前半において世界的な新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、設備投資がグローバルで抑制されました。一方、中国においては生産活動の正常化がいち早く進み、ニューインフラ関連の投資が積極的に行われたほか、自動車市場も好転するなど需要は堅調に推移しました。なお、後半にかけては欧州など中国以外の一部の地域においても持ち直す動きがみられました。

このような環境において当社グループの業績は、ACサーボモータ・コントローラ事業における中国での販売が好調に推移した一方、前半でロボット事業のお客さまを中心にグローバルで設備投資が抑制されたことに加え、インバータ事業におけるオイル・ガス関連の需要低迷の影響を受け、全体の売上収益は前年同期比で減少しました。

しかしながら、利益面においては売上減少による影響を受けたものの、期を通じた経費削減の徹底により収益性は改善し、営業利益は前年同期比で増加しました。

なお、当期における当社グループの地域別の経営環境は以下のとおりです。

- 日 本： 自動車関連をはじめ製造業全般の設備投資は低調に推移した一方、半導体・電子部品関連の需要はIT投資の増加により底堅く推移しました。
- 米 国： 半導体市場では設備投資が継続しましたが、自動車市場やオイル・ガス市場の需要が低迷するなど、総じて低調に推移しました。
- 欧 州： 自動車をはじめ市場全般で需要は低調に推移したものの、後半にかけては回復の兆しがみられました。
- 中 国： 製造業全般で生産活動の正常化が進み、次世代通信規格5G関連などへの投資が積極的に行われました。また、自動車市場においてはメーカ各社が自動化投資を計画するなど需要は回復しました。
- 中国除くアジア：アセアンを中心に自動車関連の需要は伸び悩んだものの、韓国における半導体・液晶関連などで設備投資が底堅く推移しました。

この結果、当期の経営成績は以下のとおりです。

	2020年2月期 第3四半期連結累計期間	2021年2月期 第3四半期連結累計期間	前年同期比
売 上 収 益	3,098億 1百万円	2,799億37百万円	△9.6%
営 業 利 益	191億28百万円	200億41百万円	+4.8%
親会社の所有者に帰属する 四 半 期 利 益	136億36百万円	140億83百万円	+3.3%
米 ド ル 平 均 レ ー ト	108.87円	106.54円	△2.33円
ユ ー ロ 平 均 レ ー ト	121.52円	121.61円	+0.09円
中 国 人 民 元 平 均 レ ー ト	15.71円	15.38円	△0.33円
韓 国 ウ ォ ン 平 均 レ ー ト	0.093円	0.090円	△0.003円

②セグメント別の状況

当社グループでは、事業内容を4つのセグメントに分けています。

当期の各セグメントの経営成績は以下のとおりです。

モーションコントロール	売上収益	1,280億41百万円	(前年同期比 △6.7%)
	営業利益	182億47百万円	(前年同期比 +11.2%)
<p>モーションコントロールセグメントは、ACサーボモータ・コントローラ事業とインバータ事業で構成されています。</p> <p>ACサーボモータ・コントローラ事業における中国・アジアの売上が増加した一方、インバータ事業では米国を中心に販売が低迷しました。この結果、セグメント全体では前年同期比で減収となりましたが、中国の売上伸長に伴う収益性の改善や各地域における経費抑制の効果により営業利益は増加しました。</p> <p>[ACサーボモータ・コントローラ事業] 中国において5Gや新エネルギーなどニューインフラ関連の需要増加により売上が伸長したことに加え、グローバルで半導体・電子部品関連の需要が底堅く推移するなど、堅調に推移しました。</p> <p>[インバータ事業] 米国のオイル・ガス市場が大きく落ち込むなどグローバルで需要が低迷し、売上は減少しました。</p>			
ロボット	売上収益	996億39百万円	(前年同期比 △14.5%)
	営業利益	42億19百万円	(前年同期比 △12.6%)
<p>当セグメントの主要市場である自動車においては、中国以外の地域で新型コロナウイルスの影響により、前半において設備投資が抑制され売上は伸び悩みました。</p> <p>その一方で一般産業分野においては、中国を中心に自動化ニーズの拡大を背景とした設備投資の動きがみられたほか、半導体ロボットの販売は堅調に推移しました。</p> <p>利益面では、経費削減に努めたものの売上の減少などにより、営業利益は前年同期比で減少しました。</p>			
システムエンジニアリング	売上収益	351億26百万円	(前年同期比 △9.4%)
	営業利益	6百万円	(前年同期比 2億59百万円改善)
<p>システムエンジニアリングセグメントは、環境・社会システム事業と、産業用オートメーションドライブ事業で構成されています。</p> <p>セグメント全体の売上収益は国内を中心に減少したものの、営業利益は構造改革や新製品の市場投入効果などで改善しました。</p> <p>[環境・社会システム事業] 新製品の市場投入を行った太陽光発電用パワーコンディショナの販売は底堅く推移しましたが、上下水道用電気システム関連の売上が新型コロナウイルスの影響などにより減少しました。</p> <p>[産業用オートメーションドライブ事業] 鉄鋼プラント関連は、国内での設備投資延期の影響を受け、売上が伸び悩みました。</p>			
その他	売上収益	171億29百万円	(前年同期比 △1.0%)
	営業利益	△2億58百万円	(前年同期比 2億94百万円悪化)
<p>その他セグメントは、物流サービス事業などで構成されています。</p> <p>前年同期に対し、売上収益は国内を中心に減少し、営業利益は悪化しました。</p>			

(2) 財政状態に関する説明

①資産 4,547億49百万円（前連結会計年度末比 46億21百万円増加）

営業債権やその他の流動資産等が減少した一方、現金及び現金同等物やたな卸資産の増加により、流動資産が前連結会計年度末に比べ46億81百万円増加しました。また、その他の金融資産等が増加した一方で、有形固定資産や無形資産等の減少により、非流動資産が前連結会計年度末に比べ60百万円減少しました。

②負債 2,173億77百万円（前連結会計年度末比 15億83百万円減少）

その他の流動負債等が増加した一方、短期借入金や営業債務等の減少により、流動負債は前連結会計年度末に比べ37億84百万円減少しました。また、退職給付に係る負債等が減少した一方、長期借入金等の増加により、非流動負債は前連結会計年度末に比べ22億1百万円増加しました。

③資本 2,373億72百万円（前連結会計年度末比 62億4百万円増加）

利益剰余金やその他の資本の構成要素等が増加しました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社を取り巻く環境は、第3四半期に入り中国でのニューインフラ関連の需要増加やグローバルにおける半導体・電子部品市場が好調に推移したことにより、ACサーボ・コントローラ事業では想定より強い回復がみられています。また、ロボット事業においても中国を中心とした自動車市場の回復や自動化ニーズの拡大を背景に回復基調にあります。このように当社の主力市場における需要動向は第2四半期を底に、下半期を通じて着実な回復がみられています。

しかしながら、依然として新型コロナウイルス感染拡大の長期化による景気後退への懸念は払拭できないことから、徹底した経費削減を継続することで、収益性のさらなる改善に努めてまいります。

これらを踏まえ、2021年2月期（2020年3月1日～2021年2月28日）の連結業績予想を以下のとおり上方修正いたします。

なお、2020年12月1日から2021年2月28日までの期間における平均為替レートは、102.0円/米ドル、126.0円/ユーロ、15.90円/元、0.095円/ウォンを想定しています。

	売上収益	営業利益	税引前利益	親会社の所有者に 帰属する当期利益
	百万円	百万円	百万円	百万円
前回予想（A） （2020年10月9日公表）	366,846	22,294	22,509	15,510
今回修正予想（B）	380,937	27,191	26,373	18,053
増減額（B－A）	14,090	4,897	3,864	2,543
増減率（％）	3.8％	22.0％	17.2％	16.4％
前期実績 （2020年2月期）	410,957	24,198	24,642	15,572

本資料に記載されている連結業績予想などの将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績などは様々な要因により異なる可能性があります。

2. 要約四半期連結財務諸表および主な注記

(1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年2月29日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年11月30日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	40,307	52,815
営業債権	117,886	108,547
たな卸資産	101,975	105,117
その他の金融資産	1,656	1,307
その他の流動資産	19,383	18,102
流動資産合計	281,208	285,890
非流動資産		
有形固定資産	80,355	78,232
のれん	6,402	6,542
無形資産	18,497	17,767
使用権資産	10,910	11,661
持分法で会計処理されている投資	8,079	8,219
その他の金融資産	25,513	27,174
繰延税金資産	16,093	15,893
その他の非流動資産	3,066	3,367
非流動資産合計	168,918	168,858
資産合計	450,127	454,749

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2020年2月29日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年11月30日)
負債及び資本		
負債		
流動負債		
営業債務	54,730	52,047
借入金	35,595	29,762
未払法人所得税	1,033	1,458
リース負債	2,272	2,293
その他の金融負債	4,493	4,693
引当金	928	747
その他の流動負債	39,492	43,757
流動負債合計	138,545	134,761
非流動負債		
借入金	35,859	39,357
リース負債	7,852	8,605
その他の金融負債	210	160
退職給付に係る負債	30,468	28,642
繰延税金負債	703	829
引当金	1,403	1,539
その他の非流動負債	3,916	3,480
非流動負債合計	80,414	82,615
負債合計	218,960	217,377
資本		
親会社の所有者に帰属する持分		
資本金	30,562	30,562
資本剰余金	28,161	28,091
利益剰余金	194,558	198,727
自己株式	△22,109	△22,022
その他の資本の構成要素	△2,810	△864
親会社の所有者に帰属する持分合計	228,362	234,494
非支配持分	2,805	2,877
資本合計	231,167	237,372
負債及び資本合計	450,127	454,749

(2) 要約四半期連結損益計算書および要約四半期連結包括利益計算書
 (要約四半期連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年 3月 1日 至 2019年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年 3月 1日 至 2020年11月30日)
売上収益	309,801	279,937
売上原価	△215,038	△194,508
売上総利益	94,762	85,428
販売費及び一般管理費	△76,342	△66,196
その他の収益	1,212	1,173
その他の費用	△504	△364
営業利益	19,128	20,041
金融収益	676	449
金融費用	△1,525	△1,424
持分法による投資損益	894	17
税引前四半期利益	19,173	19,083
法人所得税費用	△5,381	△4,745
四半期利益	13,792	14,337
四半期利益の帰属		
親会社の所有者	13,636	14,083
非支配持分	155	254
合計	13,792	14,337
親会社の所有者に帰属する1株当たり四半期利益		
基本的1株当たり四半期利益(円)	51.99	53.88
希薄化後1株当たり四半期利益(円)	51.97	53.86

（要約四半期連結包括利益計算書）

（単位：百万円）

	前第3四半期連結累計期間 （自 2019年 3月 1日 至 2019年11月30日）	当第3四半期連結累計期間 （自 2020年 3月 1日 至 2020年11月30日）
四半期利益	13,792	14,337
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目		
その他の包括利益を通じて公正価値で測定される金融 資産の純変動額	691	1,695
確定給付制度の再測定額	1,079	645
持分法適用会社におけるその他の包括利益に対する持 分	23	19
合計	1,794	2,360
純損益に振り替えられる可能性のある項目		
在外営業活動体の換算差額	△6,636	△81
キャッシュ・フロー・ヘッジに係る公正価値の純変動 額	△11	△7
合計	△6,648	△89
その他の包括利益合計	△4,853	2,271
四半期包括利益合計	8,938	16,608
四半期包括利益合計の帰属		
親会社の所有者	8,903	16,353
非支配持分	34	255
合計	8,938	16,608

(3) 要約四半期連結持分変動計算書

前第3四半期連結累計期間(自 2019年3月1日 至 2019年11月30日)

(単位:百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分					合計	非支配持分	資本合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素			
2019年3月1日残高	30,562	28,213	191,692	△12,487	5,987	243,967	2,950	246,917
四半期利益	—	—	13,636	—	—	13,636	155	13,792
その他の包括利益	—	—	—	—	△4,733	△4,733	△120	△4,853
四半期包括利益合計	—	—	13,636	—	△4,733	8,903	34	8,938
自己株式の取得	—	—	—	△9,699	—	△9,699	—	△9,699
自己株式の処分	—	△1	—	58	—	57	—	57
剰余金の配当	—	—	△13,662	—	—	△13,662	△238	△13,900
株式報酬取引	—	△50	—	—	—	△50	—	△50
企業結合による変動	—	—	—	—	—	—	—	—
子会社の支配喪失を伴わない変動	—	—	—	—	—	—	—	—
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替	—	—	991	—	△991	—	—	—
その他	—	—	7	—	—	7	—	7
所有者との取引額等合計	—	△51	△12,662	△9,641	△991	△23,347	△238	△23,586
2019年11月30日残高	30,562	28,161	192,666	△22,128	262	229,523	2,746	232,269

当第3四半期連結累計期間(自 2020年3月1日 至 2020年11月30日)

(単位:百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分					合計	非支配持分	資本合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素			
2020年3月1日残高	30,562	28,161	194,558	△22,109	△2,810	228,362	2,805	231,167
四半期利益	—	—	14,083	—	—	14,083	254	14,337
その他の包括利益	—	—	—	—	2,269	2,269	1	2,271
四半期包括利益合計	—	—	14,083	—	2,269	16,353	255	16,608
自己株式の取得	—	—	—	△4	—	△4	—	△4
自己株式の処分	—	3	—	91	—	95	—	95
剰余金の配当	—	—	△9,933	—	—	△9,933	△124	△10,058
株式報酬取引	—	△72	—	—	—	△72	—	△72
企業結合による変動	—	—	—	—	—	—	15	15
子会社の支配喪失を伴わない変動	—	△1	—	—	—	△1	△74	△76
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替	—	—	323	—	△323	—	—	—
その他	—	—	△304	—	—	△304	—	△304
所有者との取引額等合計	—	△70	△9,914	87	△323	△10,220	△184	△10,404
2020年11月30日残高	30,562	28,091	198,727	△22,022	△864	234,494	2,877	237,372

- (4) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項
(継続企業の前提に関する注記)
該当事項はありません。